

特別賞

(ふるさと賞)

■オリーブ通り整備事業 (表彰対象者: 香川県土庄土木事務所)



受賞の理由

この事業は、昭和40年に事業を開始したものの用地取得、漁業補償等が難航したが、ねばり強い交渉により完成にこぎつけたものである。事業の進捗とともに地元住民の理解と協力体制が整い、地元中学校の美術生徒のデザインにより、高欄歩道のレンガ舗装、親柱の修景等を行ったほか、「オリーブ通り」、「オリーブ橋」の名称も地元から寄せられたことなど、地元との一体性が評価の対象とされた。

オリーブ大橋をのぞむ

24の瞳を彷彿とさせる地元土庄中学校の美術部員の生徒と大石(?)先生。オリーブ大橋のモザイク絵はこの生徒達が製作した。

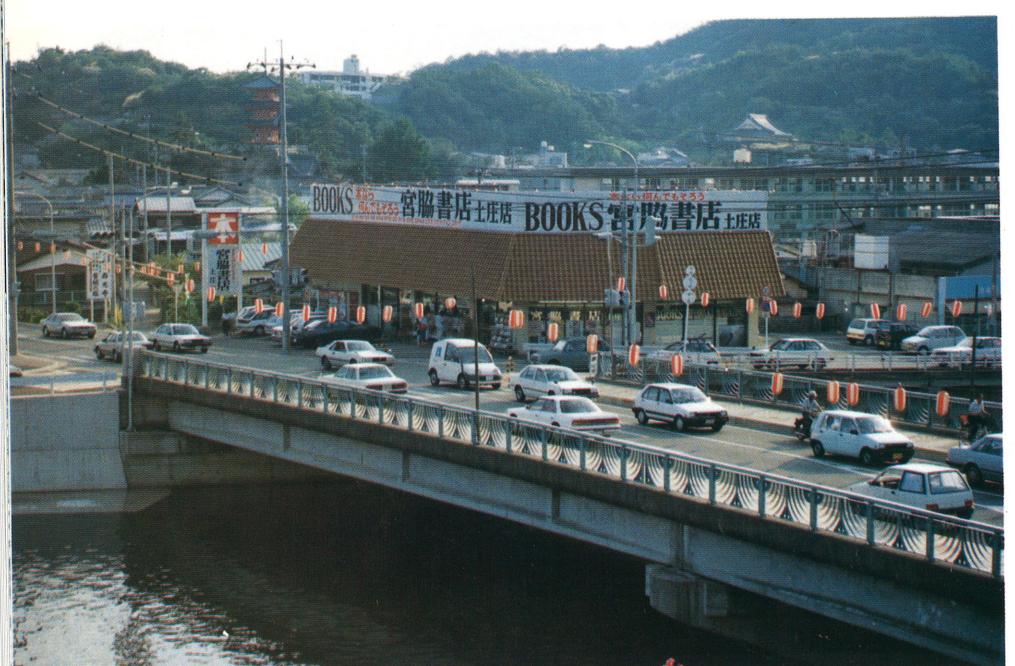


事業のあらまし

この事業は、東港線整備事業の一環として行われたもので、土庄港から国道436号までの区間を整備する事業である。観光港として賑わう土庄港を中心とした土庄町北部の旧市街地の交通混雑を緩和し、その活性化を図るとともに、町南部の新しい骨格道路としての役割を果たすものである。



オリーブ通りを舞台に
小豆島まつりを挙行
(平成元年8月9日)



- ・延長 1,844m(橋梁2橋を含む)
- ・幅員 16m
- ・事業費 1,000百万円
- ・事業実施期間 昭和40年12月～平成元年3月